

## 実は遊んでいなかった！？

子ども達が遊んでいる様子を見ていると、遊具の近くにはいるもののじーっとして何もしていない子ども、ウロウロしているだけで時間が過ぎていく子どもなど、遊んでいるように見えて実は十分に遊べていない子どもが時々います。

近くの公園などに遊びに行かれて時に、お子さまを観察してみてください。

自分で遊びを発見出来ていますか？

子どもが自主的に遊ぶ事はもちろん大切です。

しかし、まだまだ極めて狭い範囲での活動であったり、子ども自身が知っている事、自分のしたい事だけをしている事も多いです。

では、どうすればよいのでしょうか？

そこで大人の出番です！！

大人が遊びの仕掛人になって、遊びの場所や枠を広げてあげる事は子どもにとって新しい世界への一歩に繋がるのです。

そのためには、大人も子どもに負けにくいぐらいの笑顔で遊びを楽しみましょう。

本気になってかまいません。

上手く出来なくてももちろんいいのです。

楽しさがあふれ出ている様子は、必ず子ども達を刺激します。

子ども達に『あれ？何だろう』『おもしろそう』と思わせたら、そこからは見守ってあげればよいのです。

遊びのヒント、楽しさのきっかけをもらった子ども達は、きっと自ら新しい発見を探し始めたり、遊びを発展していくでしょう。

子ども達が伸び盛りのこの時期に、心弾む体験をたっぷりさせてあげたいですね。